

令和2年度  
文化振興課所管事業

## 背景・事業概要

- 群馬交響楽団は、1945(昭和20)年に誕生した地方オーケストラの草分けであり、定期演奏会や移動音楽教室などの公演を通じ、県民のオーケストラとして地域に根付いた活動を継続しています。
- また、東京公演や県外公演を通じて、本県のイメージアップも担ってきました。
- 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、各種の公演が中止や延期となりました。楽団としての活動を休止している間、楽団員がインターネット上で「おうちで群響」と題する動画配信を行ったり、移動音楽教室の代替として、小中学生に対するワークショップや、授業用のDVDの制作を行いました。
- 県は、群馬交響楽団に対して、運営費及び各種事業に対する補助を行い、楽団の活動を支援します。

## 具体的な取り組み

【予算額284,248千円】

### 1 運営費等に対する支援

運営及び経営安定化のための補助金

- ①運営費補助 (170,355千円)
- ②財務基盤強化 (10,000千円)
- ③退職金積立 (17,300千円) 等

### 3 各種演奏会への補助

県民への鑑賞機会の提供と、県外公演による県のイメージアップを支援

- ①東京定期演奏会 (3,500千円)
- ②県外公演(1,000千円) 等

### 2 移動音楽教室等に対する支援

幼児から高校生までもを対象に、本物の音楽に触れる演奏会等を実施

- ①幼児移動音楽教室 (4,250千円)
- ②移動音楽教室 (39,245千円)
- ③高校音楽教室 (24,527千円)
- ④楽器セミナー (3,960千円)



高崎芸術劇場での公演



幼児移動音楽教室



おうちで群響

# 2 群馬とベトナム交流プロジェクト

## 背景・事業概要

- 県と群馬交響楽団は、楽団の創立75周年を記念して『音楽の力で世界を「つなぐ」群響演奏会』を開催します。
- この演奏会は、群響史上初となるテレビでの生放送とオンラインでのライブ配信を実施し、県民の皆様をはじめ、多くの方々に群響の素晴らしい演奏を届け、「withコロナ時代」において、人と人をつなぎ、世界をつなぐことを目的に実施します。
- また、この演奏会は、今年の冬に予定していた群響のベトナム公演が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったことから、その代替りとして実施する演奏会でもあります。
- 群馬とベトナムとの交流を深めるため、ベトナムに向けて群響の演奏を届けるとともに、ベトナムからは、ベトナム国立交響楽団の演奏をライブ配信していただきます。
- 会場には、コロナ対応に御尽力いただいている県内の医療・介護従事者や保育園・幼稚園の職員と、県内に在住、在勤しているベトナム出身の方を招待いたします。

## 具体的な取り組み

【予算額24,510千円】

### 1 演奏会の概要

- ・趣旨 県全体の一体感の醸成、ベトナムとの交流の促進
- ・主催 県、群馬交響楽団
- ・観客 県内在住、在勤ベトナム出身者  
医療・介護従事者、保育園・幼稚園職員
- ・会場 高崎芸術劇場
- ・日時 令和2年12月5日(土)19:00~21:00
- ・放送 群馬テレビで生放送
- ・配信 WEBでのライブ配信

### 2 財源の確保

ふるさと納税の枠組みを活用したクラウドファンディングにより、財源を確保

- ・目標額 9,400千円
- ・特典・返礼品 ゲネプロ招待、群響演奏会鑑賞券、県産品等
- ・税制優遇 所得税、個人住民税の軽減
- ・CFサイト ハレブタイ



群馬交響楽団



ベトナム国立交響楽団

## 背景・事業概要

- 令和元年度の高崎芸術劇場、令和2年度のGメッセ群馬（群馬コンベンションセンター）のオープンに向けて、これらの文化施設はもとより、富岡製糸場、群馬交響楽団等、群馬県ならではの有形無形の文化資源を活用したコンテンツの創造と充実を図る取組を実施します。
- 文化資源のこれまでにない組み合わせによる活用を通じて、文化による県の魅力発信と新施設のアピールにつなげていきます。

## 具体的な取り組み

【予算額78,000千円】

### 1 世界遺産劇場（西繭倉庫改修工事完了）

世界遺産の構成資産である富岡製糸場（西繭倉庫）において、一流の音楽アーティストによるスペシャルライブと群馬交響楽団アンサンブルの共演を行い、本県が誇る世界遺産の魅力発信及び交流人口の増加につなげていきます。

新型コロナウイルス  
感染拡大により中止

### 2 伝統芸能×オーケストラ×メディアアート（Gメッセ群馬オープン）

2020年にオープンするGメッセ群馬をショーウィンドウと位置づけ、能や歌舞伎等の日本の伝統芸能と群馬交響楽団との共演と、SENJU LABのコラボレーションによる、伝統と革新の舞台芸術公演を創造します。

また、事業開始時から制作してきた、次世代を担うクリエイターが制作した映像コンテンツ等の展示を行います。

また、サテライト会場において、地元関係団体等と協働し、会場のある地域の文化遺産を活かした公演の開催や、映像コンテンツの上映を行います。

### 3 群響スペシャルコンサート

県内のホールを会場として、その地域特有の文化や、日本の伝統芸能と組み合わせ、群馬交響楽団の魅力を引き出すコンサートを開催します。



群馬交響楽団

×



歴史的建造物



伝統芸能・文化

=

新たな魅力の発信  
賑わいの創出

### 背景・事業概要

- 群馬県民の記憶に深く刻まれた「上毛かるた」を活用し、郷土の素晴らしさを見つめ直し、郷土ぐんまへの誇りと愛着を醸成するとともに、県外へも本県の文化的魅力を紹介します。
- 具体的には、上毛かるたを活用しながら本県の魅力を県内外へ発信するために、上毛かるたの発行及び関連書籍（副読本・ガイドマップ）の有償頒布や、歴史ある「上毛かるた」競技県大会の継続などを行います。

### 具体的な取り組み

【予算額18,633千円】

#### 1 上毛かるたの発行・頒布(予算額10,717千円)

平成25年10月28日〔群馬県民の日〕に権利譲渡を受けた上毛かるたに込められた思いを引き継ぎ、上毛かるたを通じて歴史と先人たちの思いを子どもたちをはじめ広く県民に知ってもらえるよう努めます。  
令和2年度は、上毛かるた18,000部を発行し、県内外の書店等に配本します。

#### 2 副読本『「上毛かるた」で見つける群馬のすがた』の頒布(予算額240千円)

上毛かるた44枚の絵札で取り上げられた事象を分かりやすく解説するとともに、制作された当時の状況やその事象にまつわる現在の姿等を紹介する副読本（改訂版）を、頒布します。（県内外の書店に配本）

#### 3 ガイドマップ『「上毛かるた」ゆかりの地 文化めぐり』の頒布(予算額2,371千円)

上毛かるた44枚の各絵札で取り上げられている地域へのアクセス方法を紹介し、ぐんまの文化紹介とあわせて観光PRに活用するガイドマップの改訂版を発行します。（県内外の書店に配本）

#### 4 「上毛かるた」競技県大会の開催(予算額500千円)

県・県教育委員会・子ども会育成連合会の三者が主催する「上毛かるた」競技県大会を継続して開催します。

#### 5 英語版上毛かるた頒布(予算額4,805千円)

小中学校での英語教育での活用や外国人観光客へのPRを目的に、英語版上毛かるたを頒布します。  
（小中学校等無償配布分：2,000部、一般頒布分：8,000部）

上毛かるた



英語版上毛かるた

Shaped like a flying crane,  
Gunma Prefecture.



ガイドマップ



副読本

新型コロナウイルス  
感染拡大により中止

# 5 埴輪王国ぐんま周知、文化観光推進

## 背景・事業概要

### ○古墳や埴輪などの「すごさ」や「ストーリー」をわかりやすく発信

次代を担う子供たちをはじめ、県民が本県の貴重な歴史文化遺産の価値を再認識してもらうことで、郷土への誇りと愛着を育むとともに、東国文化の認知度の向上を図ります。また、ユネスコ「世界の記憶」の上野三碑をはじめ、本県の歴史文化遺産の価値や魅力を県内外に発信することで、本県のイメージアップと観光誘客をさらに進めます。

### ○歴史博物館を拠点とした周遊観光促進

文化観光推進法に基づき、国の認定を受けた事業計画に基づき、歴史博物館の展示充実や博物館を拠点に周辺の温泉地などと結びつけた周遊観光を促進します。

## 具体的な取り組み

【予算額 76,884千円】

### ● 東国文化周知

【予算額 6,038千円】

#### ◆ 埴輪王国ぐんま紹介動画発信 (441千円)

東日本最大の古墳大国、日本一の埴輪県群馬を全国・世界に発信していくため、県庁32階の動画スタジオ「tsulunos」を活用して、動画の配信を行う。



#### ◆ 榛名山噴火関連遺跡価値発信 (1,095千円)

日本のポンペイ「黒井峯遺跡」や金井東裏遺跡などの榛名山噴火関連遺跡の世界的な価値を発信するための研究会を発足



#### ◆ 東国文化副読本の活用推進 (3,502千円)

- ・中学1年生全員に配布・教師用マニュアル書の配布
- ・モデル授業の実施・夏休み自由研究の募集
- ・一般販売ほか



#### ◆ 上野三碑周知 (1,000千円)

群馬県、高崎市、関係団体で構成する「上野三碑普及推進会議」により、上野三碑についての普及活動を推進



### ● 文化観光推進

【予算額 70,328千円】

#### ◆ 埴輪の3Dアーカイブ化

・本県出土の主要な埴輪50体を3Dアーカイブ化し、3Dデータを展示する。

#### ◆ 常設展示のデジタル化

・デジタルサイネージを活用し、展示品の歴史的・文化的背景を解説する映像を作成する。

#### ◆ AR・多言語アプリ開発

・AR技術を活用し、ジオラマに当時の様子を再現するコンテンツを制作するほか、展示物を多言語で解説するアプリを開発する。

#### ◆ 歴博ストーリーづくり

・展示解説の内容について、誰もが関心を持てるよう、ストーリー性のある分かりやすい内容に見直す。等



#### ◆ その他の事業 (518千円)

温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運を醸成するため、温泉文化の意義やストーリーを官民でともに考えるシンポジウムを実施。

## 背景・事業概要

### ○世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等の継承

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめ、県内に数多く存在する絹遺産について、人類全体の財産として守り伝えていくべき「世界遺産」と「日本遺産」、「ぐんま絹遺産」のネットワーク化を推進し、一体的な保存と活用に向けた取組を目指します。

### ○世界遺産センター運営（令和2年6月1日オープン）

群馬県立世界遺産センター（愛称：「世界を変える生糸（いと）の力」研究所、略称：セカイト）を運営し、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値や魅力を分かりやすく紹介するとともに、世界遺産のみならず日本遺産やぐんま絹遺産も併せて総合的に情報発信します。

## 具体的な取組

【予算額271,223千円】

### ●世界遺産継承推進

〔予算額 219,125千円〕

#### ◆世界遺産保存整備（196,690千円）

関係市町が行う世界遺産構成4資産の保存修理事業に対して補助を行う。  
（国庫補助残額の1/2）

#### ◆世界遺産推進（9,156千円）

世界遺産に係る専門的な指導助言を得る専門委員会の開催、普及啓発資料の作成、企業等からの寄附金の基金への積立等を行う。

#### ◆ぐんま絹遺産推進（9,976千円）

絹文化の継承のため、ぐんま絹遺産の保存活用等に資する事業への支援、調査研究助成事業、日本遺産「かかあ天下－ぐんまの絹物語－」の情報発信等を行う。

#### ◆ユネスコ対応（1,303千円）

ユネスコへの報告（定期報告、富岡製糸場保存整備）及び遺産影響評価マニュアルの検討・作成を行う。

#### ◆【新規】世界遺産絹の国発信事業（2,000千円）

世界遺産と渋沢栄一の関わりについての情報発信や、養蚕製糸に関わった方々の証言の収集を行い、県民の世界遺産に対する愛着と誇りを醸成する。

### ●世界遺産センター運営

〔予算額 52,098千円〕

#### ◆センター管理運営（43,576千円）

・会計年度任用職員の雇用、施設管理等を行う。

#### ◆普及活動（4,588千円）

・来場者向けパンフレットの作成や、スマートフォン用周遊アプリ「きぬめぐり」の運用等を行う。

#### ◆学校教育連携推進（1,873千円）

・学校向け資料の作成や、小・中学校を対象とした学校キャラバン（出前講座）の実施委託等を行う。

#### ◆調査研究（2,061千円）

・紀要の作成や、「セカイト研究会」をはじめとする調査研究を実施する。



# 7 県民芸術祭委託

文化振興課

## 背景・事業概要

- 県民芸術祭は、昭和56年に決議された「文化県群馬」宣言及び平成24年に制定した「群馬県文化基本条例」の理念に則り、多くの県民が芸術文化活動に積極的に参加できるよう支援するとともに、優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、個性豊かな県民文化の育成・創造を目指す文化芸術の祭典です。
- 本県の文化を支える担い手を育成するため、県文学賞選奨や県展（美術、書道、写真、華道、茶道の5部門）、ぐんま新人演奏会などを開催し、県民参加の芸術文化創作活動の場を提供します。
- 伝統文化の保存・継承・発展、後継者育成と普及を図るため、ぐんま子ども歌舞伎公演や小中学校伝統芸能教室等の事業を実施します。
- 漫画、アニメーションなどのメディア芸術の振興を図るGUNMAマンガ・アニメフェスタを大泉町文化むら(予定)で開催します。

## 具体的な取り組み

【予算額40,674千円】

- 群馬県文学賞、県展、山崎種二特別賞など、県民芸術祭事業を(公財)群馬県教育文化事業団に委託して実施します。
- GUNMAマンガ・アニメフェスタを開催し、メディア芸術の振興を図ります。**令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、中止している事業があります。**

◆令和2年度当初実施予定  
(内訳)

- ①群馬県文学賞選奨(授賞式を中止)
- ②群馬県展(5部門)  
(写真、華道、茶道、美術は中止、書道は作品募集のみ実施)
- ③県民音楽のひろば(7か所中1か所中止)
- ④小中学校伝統芸能教室(6か所中3か所中止)
- ⑤公開放送番組招聘(中止)
- ⑥山崎種二記念特別賞(書道のみ)
- ⑦GUNMAマンガ・アニメフェスタ
- ⑧地域文化フェスティバル(2か所中1か所中止)
- ⑨子どもワークショップ「はじめての文化・芸術ふれあい教室」
- ⑩参加団体会場費補助(10団体中9団体中止)

- ①県民芸術祭企画運営
- ②群響企画コンサート(中止)
- ③グリーンコンサート(2回中1回中止)
- ④ぐんま新人演奏会(中止)
- ⑤伝統歌舞伎の祭典(祭典は中止、実施方法の変更)



小中学校伝統芸能教室



GUNMA マンガ・アニメフェスタ

# 8 県立文化施設の整備

## 現状・課題

県立文化施設〔美術館（2館）・博物館（3館）・文化ホール（2館）〕は老朽化が進行しており、安全で適切な維持管理及び施設の長寿命化を図るための整備が必要となっています。

〔群馬県民会館〕○開館後49年の経過により、建物・設備の老朽化が著しく進行し、設備・機器の故障や雨漏り・漏水等が発生しています。

○耐震補強を含む長寿命化のための改修工事を、令和2年夏から実施する予定でしたが、県有施設のあり方見直しの対象として、改修工事も含めて検討されています。

○耐震性については、一部満たしていない部分はあるものの、継続使用しても概ね問題がないとの判断が示されています。

○駐車場の改善について継続して根強い要望があります。

〔近代美術館、自然史博物館〕

○一部天井が現行建築基準法の基準を満たしていません。

施設名	開館	経過年数	耐震補強	特定天井	これまでの大規模な改修等	
近代美術館	S49.10.17	46	-	該当	H18~19	建物・設備改修
館林美術館	H13.10.26	19	-	-	R元	設備改修（E S C O）
歴史博物館	S54.10.21	41	-	-	H26~28	建物・設備改修
自然史博物館	H8.10.22	24	-	該当	H25	設備改修（E S C O）
かぶら文化ホール					-	-
土屋文明記念文学館	H8.7.11	24	-	-	-	-
群馬県民会館 （ベイシア文化ホール）	S46.10.29	49	要	該当	H11~12	機械・電気設備更新、増築等
					H18	アスベスト除去

## 具体的な取組

### 美術館・博物館

〔歴史博物館〕

○展示室の燻蒸（予算額9,790千円）

〔館林美術館〕

○第4展示室天井の結露対策工事  
（前年度から繰越、予算額3,350千円）

### 文化ホール

〔群馬県民会館（ベイシア文化ホール）〕

○小ホール給水配管修繕ほか  
（予算額13,424千円）



※このほか、施設の長寿命化、設備・機器の緊急修繕等は、財産有効活用課、地域創生課所管予算でも対応します。

# 9 文化施設の運営(1)

## 背景・事業概要

県では、県民の皆様に優れた本県の芸術や文化の鑑賞の機会を提供するため、8つ※の文化施設を運営しています。

令和元年度の美術館・博物館の入館者数 542,107人

※令和2年6月1日オープンの世界遺産センターは別途記載

## 具体的な取組

美術館・博物館では、引き続き効率的な管理・運営に努めるほか、魅力的な企画展示等の実施、教育普及事業の充実を図ります。

### 近代美術館

(予算額218,122千円)

本県における中核の美術展示施設として、本県ゆかりの作品を含む日本と西洋の近現代美術、中国と日本の古美術からなる戸方庵井上コレクションの展示等を行います。

(企画展示) 6/2～8/23 catch the eyes 一目から心へー

6/27～8/23 絵画のミカタ

9/12～12/13 佐賀町エキジビット・スペース1983-2000 ー日本美術の定点観測ー

### 館林美術館

(予算額178,541千円)

「自然と人間」をテーマに、地域に根ざした美術館として、所蔵する国内外のコレクション等の展示を行うほか、地域と連携した様々な教育普及事業にも取り組みます。

(企画展示) 5/26～6/28 10のテーマでアートをつなぐ

7/18～9/22 安野光雅 風景と絵本の世界

10/10～12/13 生誕150年 大下藤次郎と水絵の系譜

1/23～3/21 竹久夢二の美人画とモダンデザイン

### 歴史博物館

(予算額216,768千円)

東国文化や上野三碑をはじめとして、原始から現在にいたる群馬の歴史・文化を、実物資料を中心にジオラマやレプリカなども多数展示し、子どもたちにも分かりやすく解説します。

(企画展示等) 7/18～9/6 綿貫観音山古墳のすべて

10/17～12/6 空からグンマを見てみよう ー国絵図・城絵図・町村絵図ー

1/5～2/7 特別收藏品展 ブルーノ・タウトの世界

2/27～5/9 春の特別展示 新・すばらしき群馬のはにわ(仮称)

※水滴染み事故により、平成23年度、文化庁から公開承認施設を取り消されましたが、令和4年度の再承認を目指し、施設の適切な管理運営に努めています。



# 10 文化施設の運営(2)

## 具体的な取組

### 自然史博物館

(予算額328,397千円)

地球の生き立ちから生命の進化の歴史、本県の自然の現状と変遷などの展示を通して、太古のロマンを存分に伝え、自然と環境に対する理解を育みます。

- (企画展示) 6/2~12/6 空にいどんだ勇者たち  
 1/23~2/14 特別展 ぐんまの自然の「いま」を伝える  
 3/20~5/16 すき間・片隅植物図鑑



### 土屋文明記念文学館

(予算額 70,242千円)

歌人土屋文明の業績を記念して、その生涯と作品を紹介するほか、短歌や本県ゆかりの文学資料等を収集・展示し、文学を感じ、親しむ機会を提供します。

- (企画展示) 5/27~7/31 文学と、草木染と一山崎斌のころざしー  
 8/8~9/22 特別展 紙芝居がやって来たⅢ  
 10/10~12/20 土屋文明生誕130年没後30年記念展 若き日の土屋文明ーあまた人々の恵みありー  
 1/16~3/14 絲山秋子展ー“土地”で生きる人々を描く



### 文化ホール(群馬県民会館、自然史博物館附帯ホール)

(予算額148,013千円)

優れた文化芸術の創造、交流、発信の本県及び地域の拠点として、引き続き指定管理者制度による施設・設備の管理・運営を行います。

群馬県民会館 (ベイシア文化ホール)

指定管理者：群馬県民会館管理共同事業体

指定期間：平成28~令和3年度(予定)※

自然史博物館附帯ホール (かぶら文化ホール)

指定管理者：富岡市

指定期間：令和2~6年度

※群馬県民会館は、県有施設のあり方見直しの検討を進めているところであり、令和3年度まで、指定期間の1年延長を予定しています。

文化施設5館の入館者数(令和元年度)

	近代美術館	館林美術館	歴史博物館	自然史博物館	土屋文明記念文学館	5館計
	74,224	57,722	110,152	267,860	32,149	542,107
指針目標	100,000	55,000	100,000	250,000	35,000	540,000
達成度	74.2%	104.9%	110.2%	107.1%	91.9%	100.4%

## 背景・事業概要

- 失われつつある地域の伝統や文化を継承（復活）している、意欲ある団体への支援を行います。
- 具体的には、県内各地に伝わる伝統芸能や祭りなどを継承するための取り組みを、補助事業や委託事業により支援します。

## 具体的な取り組み

【予算額9,124千円】

### 1 「群馬のふるさと伝統文化」支援事業（予算額8,104千円）※補助率2/3以内

補助メニュー	対象事業	上限額	件数(枠)
伝統文化映像記録	地域伝統文化を映像に記録	200千円	2件
伝承者養成	伝承者(後継者)の養成	200千円	3件
伝統文化継承活動	道具や衣装の整備等	200千円	8件
こども伝統文化継承	こども教室等での体験・習得	200千円	3件
伝統文化サポーター	継承を支えるサポート活動	200千円	1件



獅子舞用衣装の購入(伝統文化継承活動)



祇園囃子の練習会(こども伝統文化継承)

### 2 伝統文化継承事業委託（予算額1,020千円）

(公財)群馬県教育文化事業団に委託し、専門知識や人脈を活かした、伝統文化継承に関する具体的支援を実施します。

- ①ぐんまの地域文化マップ運営、②伝統文化継承モデル事業（伝統芸能字幕付公演等）の実施

# 12 文化づくり支援事業

## 背景・事業概要

- 「群馬の文化」形成に資する、地域での多様で創造性豊かな活動を支援します。
- NPO法人、民間団体（実行委員会形式等含む）が行う文化活動への補助を実施します。
- 第三者機関による補助事業の事前・事後評価を行います。

## 具体的な取り組み

【予算額 8,266千円】

### 1 「群馬の文化」支援事業(予算額 8,044千円)※補助率1/2以内

補助メニュー	内容	対象団体	上限額	R2申請件数
文化力向上事業	群馬の文化を元気にする新たな取組等を支援	NPO法人 民間団体（実行委員会形式等含む）	50万円	5件 （うち4件採択）
次世代育成事業	次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる取組を支援	NPO法人 民間団体（実行委員会形式等含む）	20万円	
文化資産発掘・活用事業	地域の文化資産を活かした地域振興につながる事業を支援	市町村が構成員となっている実行委員会等の団体	100万円	1件 （うち1件採択） ※新型コロナウイルス感染拡大のため事業中止決定

### 2 文化づくり支援事業・魅せる群馬の文化応援事業評価委員会（予算額 222千円）

第三者機関による補助事業に対する事前・事後の評価を実施します。



榛名湖・湖上オペラプレ公演(文化力向上事業)



ロマン派音楽研究会ROMUVE演奏会  
(文化力向上事業)